

## 宇都宮市立瑞穂野北小学校 第4学年 児童質問紙調査

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

#### <家庭での学習>

○平日に1時間以上(4年生…目標50分以上)学習している児童の割合は57.2%で、市の平均より高い。

●休日に1時間以上学習している児童の割合は42.7%で、平日に比べると少なくなっている。

#### <学ぶ意欲>

○「勉強していておもしろいと思うことがある」、「勉強していて不思議だなと思うことがある」児童の割合が高く、学習に対して意欲的な様子が見られる。

#### <学校での様子>

●「自分の考えを文章にまとめて書くことは難しい」、「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ではない」児童の割合が高い。「自分の考えをもつ・伝える」ことは、学習内容を理解する上でとても大切なことであり、計画的に活動を取り入れていきたい。

#### <教科の学習のこと>

●「自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けている」児童の割合が低い。根拠をもって考えることができるように、学習活動の様々な場面を通して指導する。

#### <家での生活>

●1日に3時間以上テレビを見ている児童の割合が50.0%、2時間以上ゲームをしている児童の割合が29.5%であり、市の平均より高い。時間を上手に使うことを心掛けさせる。また、懇談会や学年だより等を活用して保護者への啓発を図る。

#### <自分自身のこと>

○「自分のよさを人のために活かしたい」児童の割合が高い。

●「自分にはよいところがある」、「自分の行動や発言に自信がある」、「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している」児童の割合が低い。多少の失敗や間違いは恐れずに、「自分」という存在を認めながら、自信をもって生きていけるように、それぞれの良さを称賛したり、間違えたり失敗したりしても再挑戦できる場を設けたりする。

#### <家族のこと>

○「家の人と、学校での出来事・学習について話をしている」、「家の人が褒めてくれる」児童の割合が高い。